

## 平成 30年 死亡災害発生状況 (平成30年12月末速報値)

沖縄労働局

番号	所轄署	事故の型	起因物	業種別	発生時期	年齢	労働者数 (規模別)	発生状況
1	那覇	崩壊・倒壊	仮設物・建築物・構築物等 (屋根、はり、もや、けた、合掌)	建築工事業 (鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業)	1月下旬	40歳代	10～29	空港のターミナル拡張工事において、2階床上で高所作業車を使用して3階梁間に水平ネットを取り付けする作業をしていたところ、3階天井部分のPCコンクリート梁が崩壊した為、高所作業車ごと巻き込まれ被災した。
2	名護	墜落・転落	仮設物・建築物・構築物等 (建築物、構築物)	その他の建設業 (電気通信工事業)	2月中旬	40歳代	10～29	レーダー施設のドーム取付け架台の撤去作業において、円筒状のコンクリート壁の上に跨り、約50cmスパンで埋設されていたアンカーボルトの撤去を行っていた際に、次のボルトを切断するために中腰で立ち上がり後ずさりしたところ、約3.1m下のテラス部に転落した。
3	名護	飛来・落下	建設機械等 (基礎工事業用機械)	土木工事業 (その他の土木工事業)	5月上旬	50歳代	10～29	基礎工事業用機械(くい打機)の下で、くい製作の為の穴に設けられた蓋の一部をガス溶断する作業を行っていたところ、基礎工事業用機械(くい打機)の振れ止めのブレーキを掛けずにエンジンを止め、オペレーターが運転席を離れた為、数十分後にブレーキを把持していた油圧が低下し振れ止めが落下、被災者に激突し死亡した。
4	那覇	おぼれ	環境等 (水)	土木工事業 (港湾海岸工事業)	8月中旬	50歳代	50～99	海洋土木工事に使用する潜水士船の錆落とし及び塗装作業を浮きクレーン台船上で行う予定であったところ、浮きクレーン台船と、当該台船が停泊している岸壁との間の海面に被災者がうつぶせで浮遊しているのを同僚が発見し、救出した後、病院へ搬送されがその後、死亡が確認されたもの。

死亡災害報告による。統計情報は今後の調査により修正される場合があります。